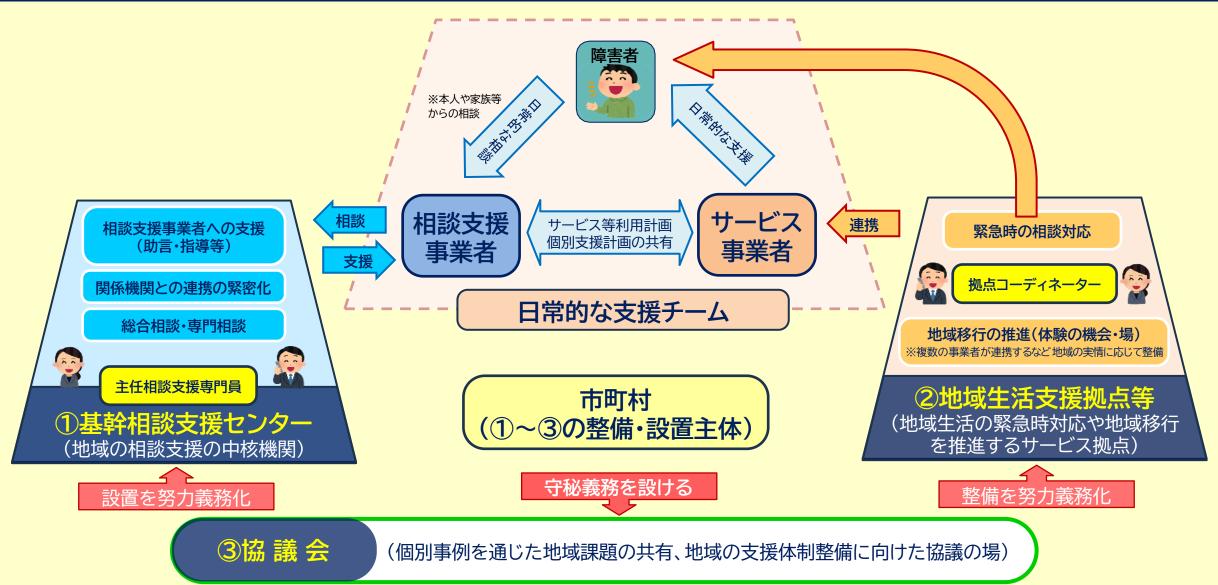


東京都内の主任配置状況(令和7年3月末現在)

| 加算算定状況 | 算定事業所数 | 割合 | 基幹設置済 の自治体数 | 基幹未設置 の自治体数 | 考察 |
|--------|--------|------|----------------|----------------|--|
| 主任加算 I | 61事業所 | 6% | 21自治体 | 6自治体 | 都内27の自治体(44%)は主任に人材育成 等の協力要請が可能 |
| 主任加算Ⅱ | 48事業所 | 5% | 11自治体 | 2自治体 | 都内11の基幹C(28%)は相談支援事業所に主任の協力要請を働きかける必要がある |
| 主任加算なし | 879事業所 | 89% | 8自治体 | 14自治体 | 都内22の自治体(35%)には相談支援事業 所に主任が配置されていない |
| 小計 | 988事業所 | 100% | 62自治体 | | 全自治体へ主任を配置し、相談支援専門員 の人材育成に関与させ、利用者のために 相談支援の質の向上を図る必要がある |



本人・家族等の支援に向けた体制整備のイメージ



都道府県(管内市町村における整備や機能の充実に向けた広域的な支援)



苦労している自治体

官民協働を阻害する文化

官・民が互いに様子見×

官の責任感が強すぎて 民の力を活かせない ×

官頼みの民×

【課題③】

総合相談に追われている 連絡会が情報伝達止まり

【課題②】

主任不在又は少ない 協議会や部会が低調 ロードマップを描けず

【課題①】

計画の実績が低調 委託の役割が不明確 地域診断が不十分



上手くいっている自治体

適切な緊張関係の中で官民の仲が 良く、小さな官民協働ができている



(Point[®])

拠点等を含めた地域づくり(資 源開発)ができている

[Point4]

各主任が協働できている 支援者支援ができている 協働型が推進されている

[Point3]

基幹の役割が明確 個別課題の抽出が活発

[Point2]

主任が一定数いる 定期的な事業所巡回 ロードマップを随時作成 官民協働で協議会運営

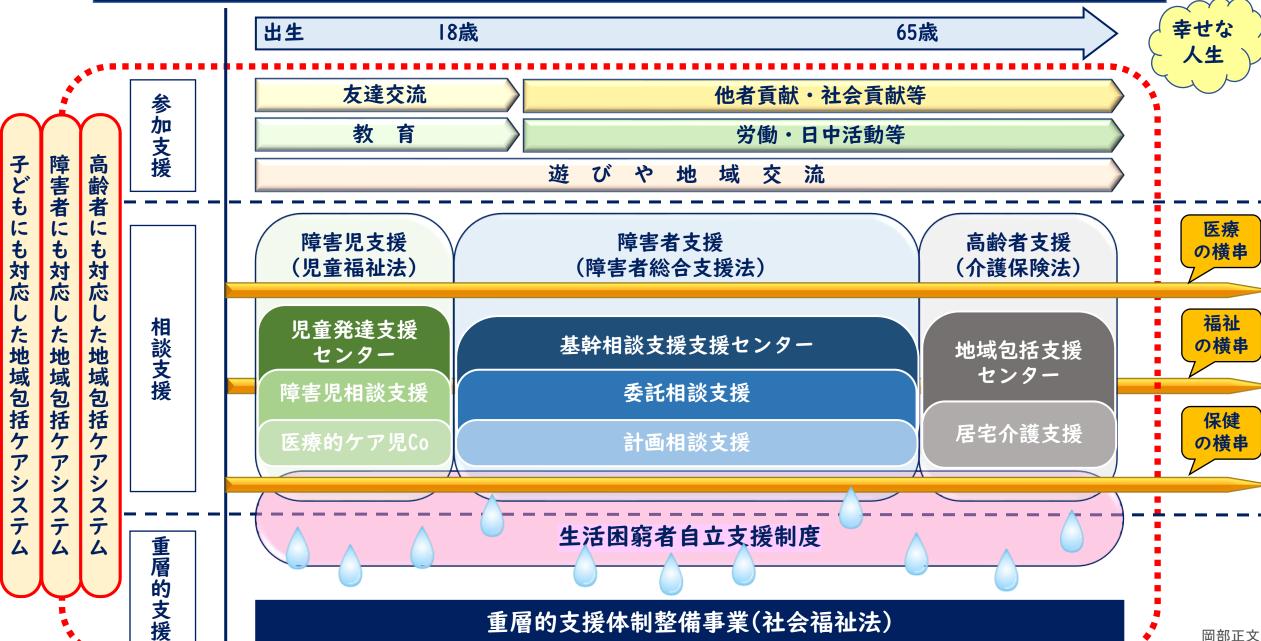
[Point(1)]

オールケアマネの達成 委託の役割が明確 適宜、地域診断している





共生社会の実現に向けた相談支援のビジョン(試案)



@ソラティオ(2022)



≪グループ討議≫

く共通テーマ>

相談支援ってなに?誰のためにあるの?

| < | 選択テーマ> | グループ番号 |
|---|--|----------------|
| 1 | 「相談したくなる関係づくりとは」 | 3·4·5 6·7·8 |
| 2 | 「印象に残る"相談"から見える良い支援とは」 | 9•10 |
| 3 | 「"したいこと"を引き出す相談支援とは」 | 11 • 12 13 |
| 4 | 相談支援とどう付き合っていますか (当事者同士で話し合ってみましょう) | 1 |
| 5 | 相談支援とどう付き合っていますか (当事者家族で話し合ってみましょう) | 2 |